



北摂フォトログイニング2020

縮尺 1:25000

2020年12月20日(日)

北摂フォトログイニング2020

等高線間隔 10m

緊急連絡先 090-4290-2997(よこた)

磁北

1000m

地図記号凡例

- 等高線 (10m間隔)
- 等高線 (50m間隔)
- 道 (太い線は1km)
- 不明瞭な道の分岐
- トンネル
- 川
- 池
- 建物
- 鉄道
- 駅
- トイレ
- 自動車道 (出入禁止)
- 観光地
- 通行禁止の道
- 公園・緑地・森林
- キャンプ場・キャンプ区画
- スタート・フィニッシュ

地図調査: 河合利幸、阪本博、込村幸

調査期間: 2019年4月~12月、2020年3月~11月、2019年8月~11月、2020年8月~11月、2019年9月~12月、2020年8月~11月

この地図の作成に当たっては、国土地院発行の基礎地図情報を使用し、

Copyright, 2020 大阪府オリエンテーリング協会

北摂フォトロゲイニング2020
2020年12月20日(日)

得点	写真	紹介文
20		伝能因法師墳 平安中期の歌人・能因法師の墳墓と伝えられる。能因法師は女流歌人・伊勢の作風を慕い、この地に移り住んだ。墳墓正面の顕彰碑は、1650年に高槻城主永井直清が建立。 顕彰碑も入れて撮影。
21		芥川一里塚 一里塚とは、街道の1里(約4km)ごとの目印。西国街道の宿場「芥川宿」の東出入口の両側にあったが、現在は東側ののみが残る。祠は一昨年の台風で損壊したが、再建された。
22		伊勢寺 三十六歌仙の1人で平安中期の女流歌人、伊勢の晩年の住居跡で、天正年間に高山右近の兵火で焼失したが、寛永年間に再興される。高槻城主和田惟政の墓もある。 山門を撮影。
23		日吉神社 萩之庄にある単立の神社。 鳥居を撮影。
24		高山右近高槻天主教会堂跡 高山右近の父・飛騨守が建築した天主教会堂や神学校があった場所。当時の高槻におけるキリスト教布教の拠点であった。ルイス・フロイスの記録によれば、庭園の一角には大十字架が建てられていた。
25		夜啼石 磐手杜神社にある石。高槻城主永井近守の老臣長田文八郎が境内にあった奇石を自庭に持ち帰るが、毎夜「あま(安満)えいのう、あま(安満)えいのう」と鳴くので元の境内に戻したという。
26		慈願寺 聖観世音が本尊の曹洞宗の寺。寺伝によれば聖徳太子の開創とされ、往時は天台宗に属していた。市街地のど真ん中にありながら、境内は深い緑に包まれている。
27		高槻城三の丸と外堀の段差 城跡公園の東縁の段差は外堀の名残。三の丸には、三の丸御殿や武家屋敷が建ち並んでいた。 高槻まちがど遺産の銘板を入れて撮影。
28		大道法師足跡塚 かつて高さ約1.2m、径約12mの塚があり、巨大な足跡のある石があったといわれる。大道法師が誰かについては諸説あり。現存する碑は1811年に再建されたもの。
29		春日神社 春日大社的一座であったが、菅原道真が左遷の時に立ち寄った縁から菅公を合祀。上牧、鶴殿、并尻各村の鎮守として信仰された。大正4年に神奈備神社を合祀。 鳥居を撮影。
30		広宣寺 日蓮宗の寺。ヨガ(寺ヨガ)もやっているらしい。

写真には、撮影者以外のメンバー全員を入れて撮影してください。
(個人クラスは除く。ポーズは自由。)

紹介文は一般的な説明であり、その他に諸説あるものもあります。

得点	写真	紹介文
31		芝谷古墳 全長約40mの前方後円墳。4世紀末頃の築造で、被葬者は浦堂一帯の有力者と推定されている。 説明用看板を入れて撮影。
32		大蔵司遺跡 弥生時代後期から中世にかけての集落跡。東西約420m、南北約640m。現在は府立芥川高校が建つ。 説明用看板を入れて撮影。
33		今城塚古墳 全長約350m、後円部径約100mの6世紀前半では最大級の前方後円墳で、二重の濠をもつ。椁体天皇の眞の陵と考えられているが、墳丘に自由に立入可。日本最大の家形埴輪や精緻な武人埴輪が出土。 前方部頂上にある4番の石盤を入れて撮影。周辺にある同様の石盤に注意。
34		新川の桜堤 知る人ぞ知る高槻市内No.1お花見スポット。約900mにも渡る桜トンネルの通り抜けが楽しめる。宴会客が少ないので、デートに最適。芝も美しい。 ホテル捕獲禁止の看板を入れて南方方向を撮影。
35		弁慶の駒つなぎのクスノキ 弁慶が馬をつないだという伝説のあるクスノキの巨木。一乗寺境内にある。高さが29m、樹齢は約800年、市の保護樹木にも指定されている。
36		タチノ地下壕跡 崩落が続く30数本のトンネル群は第2次大戦中、陸軍の貯蔵庫(高槻地下倉庫:暗号名タチノ)として工事が開始され、後に川崎航空機工場とされたものの、完成前に敗戦を迎えた。強制労働という負の側面をもつ。 銘板を入れて撮影。
37		鶴殿葎の原 鶴殿は、葎(蓬)や荻などが群生する淀川河川敷の一帯。「鶴殿の葎」は雅楽器の吹き口、一帯の特产品のひとつであった。高槻の特産品のひとつであった。1875年に開始された 淀川改修100周年を記念して建立された碑を撮影。
38		宮之前東通学橋 安威川にかかる歩行者・自転車用の橋。 東端から北方向を撮影。
40		安満宮山古墳 邪馬台国の時代の1辺20mほどの長方形墳。魏の年号「青龍三年」銘鏡や三角縁神獸鏡を含む青銅鏡5面などが出土。魏から卑弥呼に贈られた銅鏡百枚の一部ともみられている。 銅鏡のレプリカとガラスシェルタを入れて撮影。
41		芥川公園 津之江・瀬川の合流点河川敷にある公園。豊かな生態系再生を目指す整備が進められている。 展望広場の看板を入れて、北方方向を撮影。展望広場への登り口にも同様の看板があるので、要注意。
42		彫刻の郷墓園 現代アート的な彫刻のある墓園。 彫像2体(入らなければ左の1体)を入れて撮影。

得点	写真	紹介文
43		新池ハニワ工場公園 5〜6世紀の遺跡で、埴輪窯18基と工房、工人集落からなる日本最大級の埴輪工場跡。今城塚古墳や太田茶臼山古墳の埴輪はここで造られていた。工房2棟、窯2基が復元され、窯1基は発掘中の状態で展示。 南側の工房を南から撮影。
44		追手門学院大学 茨木総持寺キャンパス 旧東芝工場跡にできた新しいキャンパス。三角形のUFOのような建物。 大学名を入れて撮影。
45		殿岡神社古墳 宇賀御魂神を祭神とする殿岡神社の境内にある径約20mの円墳だが、社殿建設により墳丘が削られている。 草に隠れている石室入口と左側の建物の壁を入れて撮影。
46		本澄寺 1471年、日順僧都の開創になる日蓮宗の寺で、日蓮の作と伝えられる祖師像が祀られている。境内には昭和の詩人・三好達治記念館もある。
47		阿武山山頂道の道標 平辻池里山古道から阿武山山頂方面への分岐にある道標のひとつ。 道標を入れて撮影。
48		安威砦跡 安威城の背後の丘陵上にあった砦で、3つの曲輪からなる。不明な点が多いが、1527年の桂川原の戦いの前に安威弥四郎が急ごしらえしたのではないとも言われている。 石碑と説明用看板を入れて撮影。
49		塚脇F1号墳 6世紀後半から7世紀に築かれた塚脇古墳群約50基中最も古く、規模も大きい。特殊な墳丘や豪華な副葬品から、渡来系の機織り技術指導者が葬られたとみられる。 北東端から撮影。
50		白山神社 菊理比命尊をご祭神として祀る神社。
51		阿武山古墳 昭和9年、京大地震観測所建設の際に偶然発見された。地下の石室に埋葬されていた男性遺体の骨折痕や、金糸で刺繍された冠帽などから、被葬者は藤原鎌足であるとの説が有力。 墓室を撮影。
52		摂津一ノ宮神社 五穀豊穡「食物の神」とされる豊受大御神をご祭神とする平成生まれの神社。
53		子安天満宮 太宰府に左遷された菅原道真を追って、身重の側室がこの地に来た時に産気づくも、流血して死去。以後、安産の神として祀られる。この地の赤大路の地名は、その時の流血が道を覆ったことからとされている。

得点	写真	紹介文
54		金龍寺跡 金龍寺は由緒ある名刹であったが、高山右近の兵火にあって焼失、秀頼が再興。しかし明治以降は荒廃し、1983年ハイカーの火の不始末により本堂が焼失、廃寺となった。本堂跡近くの道標を入れて撮影。
55		桜井駅跡 古代律令制度下の駅家の跡で、国の史跡。1336年足利尊氏を討つべく湊川に向かう楠木正成が、嫡男正行を河内国に帰らせたと伝えられる場所。乃木希典筆「楠公父子訣別之所」の碑を撮影。他にも碑が複数あるので要注意。
56		トナカイのモニュメント 竹林に存在する場違いなモニュメント。地主の方が好きで制作して置いたとのこと。トナカイの銘も深い意味はないらしい。
57		阿武山御神木 山頂より少し下にあるエノキの御神木。南側から撮影。付近からの南西方向の眺めは抜群。
58		牛地藏 神峰山寺への参道入口に鎮座する牛の姿をした地藏。京坂越えて荷物を運んだ牛の苦労をねぎらうため、天保4年(1833年)に地元有志が建立。
61		幣久良山御野立所石碑 明治20年、明治天皇が大阪鎮台兵の演習をご覧になるため騎馬で立ち寄られたことを記念する石碑。耳原公園内の標高約63mの丘の上にある。東側から撮影。 南側の石碑と間違えないように。
62		雨乞いの岩 地元では民話として受け継がれている。ハイカーには知られたポイント。
63		浄圓寺からの風景 浄圓寺は浄土宗の寺院。原地区の田園風景が美しい。 西側の石段と帯仕山の遠景を入れて撮影。
64		展望デッキ 高槻市立摂津峡青少年キャンプ場の第2キャンプ場の近くにある。眺望よし。ウッドデッキを入れて南東方向を撮影。
65		芥川山城跡 三好山の林内に石垣、土塁、堀切などが残る。1553年に三好長慶が城主となる。山頂からの眺め抜群。長慶を祀っている山頂の祠は一昨年の台風により損壊されたが、最近修復され、松永久秀も合祀された。長慶が描かれた看板を入れて撮影。
66		岩神社 成合春日神社のご神体として祀られている巨岩がある。祠も入れて撮影。

[illegible]

2020点満点。制限時刻を過ぎると、1分ごと(秒は切り上げ)に減点100点、30分以上の遅刻で失格です。
20分以上遅刻しそうな場合は次の緊急連絡先に連絡してください。 090-4299-2997(よこた)